

堂本印象 おんげいさつ 日本畫家。明治二十四年十二月、二十五日京都市生れ。昭和五十年九月五日没（八九一七）。本名三之助。別號恒世、陶庵。京都市立美術工藝學校校長、大正十年京都市立繪畫專門學校校長。西山翠嶂の師事。第一回帝展以降連續入選、十年特選、翌年推薦となり以後無鑑査。十四年帝國美術院賞受賞。社寺の繪繪、大井畫、壁畫を多く制作。昭和十二年東江社を結成、十九年帝室技藝員、二十五年日本藝術院會員、二十六年文化勳章受章。四十二年京都市立堂本美術館を設立す。

著書に『四大王寺寶塔壁畫』(昭和二十六年六月、二十八日生命館出版部)、『高野山根本大塔壁畫と社繪』(昭和二十八年十一月、二十日京都・生命館出版部)、『画室の窓』(昭和二十九年九月、二十五日朝日新聞社)、『美の足音—ヨーロッパ。美術旅行』(昭和二十年四月五日京都・人文書院)等。

